

歯科矯正学特論 ・ 実習

《キーワード》 矯正装置、舌側弧線装置、マルチブラケット装置、顎整形装置、機能的矯正装置、保定装置

《担当者名》 飯嶋 雅弘 福永 智広 中尾 友也

【概要】

矯正臨床では、歯系又は骨格系の問題点に対する治療のために様々な矯正装置が用いられる。歯の移動に用いる代表的なものはマルチブラケット装置である。この装置では、多数歯に装着されたブラケット又はチューブにアーチワイヤーを固定することによってワイヤーの弾性力を歯に伝達し、三次元的に正しい位置に歯を配列させる。また、骨格系の問題を有する患者に対しては、上下顎骨に対する顎整形装置又は機能的顎整形装置が適用され、成長期における顎骨成長の制御をはかる。

本科目では、矯正臨床で用いられる様々な装置の基本的構造と原理を理解するとともに、各装置の製作と取扱いの一連の術式を習得することを目標としている。

【学修目標】

1. 矯正力の種類とその特性を説明できる。
2. 矯正力に対する歯、歯周組織及び顎骨の反応を説明できる。
3. 矯正治療に用いる機材の使用方法について説明できる。
4. 矯正装置の構造とその作用についての基礎的知識を習得する。
5. 矯正装置を製作し、取り扱うことができる。
6. 保定の目的と保定装置の製作、取扱い方法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義	1) 矯正力の種類と特性 2) 矯正力に対する生体反応 3) 矯正装置 (1) 舌側弧線装置とマルチブラケット装置 (2) 顎整形装置と機能的矯正装置 (3) 急速拡大装置と緩速拡大装置 (4) 保定装置 4) 抜歯と非抜歯治療 5) 保定	飯嶋 雅弘 福永 智広 中尾 友也
2	実習	Partial bracket 装置によるタイポドント実習	飯嶋 雅弘 福永 智広 中尾 友也

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

事前に提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくことが望ましい。